

んだすな

Ndasuna



大館コーロ・カンパネラ



コーロ O M G



歌謡サークル シャルル・フロレ



釈迦内女声合唱団



大館松下村塾 歴史と歌の会

大合唱で心ひとつに

～ 秋田わか杉国体を歌で激励～

秋田県民歌斉唱の会(大館市)



大館男声合唱団



大館フラウエンコーロ

平成18年 8月15日発行

発行/秋田県生活環境文化部地域活動支援室

〒010 8570 秋田市山王四丁目1 2 TEL018 860 1520

編集/秋田県北NPO支援センター(北部市民活動サポートセンター)

〒017 0841 秋田県大館市字大町57 TEL0186 49 8553

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail anec1@io.ocn.ne.jp

2006 August



大合唱で心ひとつに

～ 秋田わか杉国体を歌で激励～ 秋田県民歌斉唱の会(大館市)

「秋田わか杉国体」を歌で盛り上げようと、秋田県民歌斉唱の会が発足。9月18日(火)に開催される「大館・北秋田地域 開催1年前県民総参加運動推進大会」の式典冒頭に出演することになりました。

会の立ち上げは、大館松下村塾歴史と歌の会の齋藤松子代表の「国体開催時に、会場で県民歌や市民歌を歌い、大会を盛り上げたい。」との願いがきっかけとなりました。県や団体とのコーディネートを務めている北部市民活動サポートセンターの担当者は、「大館市内の合唱団体や吹奏楽部に呼びかけたところ、スケジュールの都合で参加できない団体もありましたが、皆さん快く応じてくださいました。各団体の団結した素晴らしい歌声と演奏を披露できるように願っています。」と意欲的です。市民団体からの自発的な動きが多く、多くの団体を結びつけ、推進大会開催に向け動き出しています。



指揮 & 音楽監督

成田 高(なりた たかし)氏

音楽教師として37年間の指導実績を活かし、現在も大館市内の歌謡サークル及びマンドリン演奏の指導者として活躍中。音楽への深い憧憬と温厚な人柄で人望も厚い方です。

歌謡サークル シャルル・フローレ

成田高氏の指導により、歌謡曲の他、童謡、叙情歌、クラシック、そして市民歌・県民歌など『良い歌を楽しく歌う』をモットーに楽しく歌っています。

大館コーロ・カンパネラ

昭和45年に発足しました。メンバーのコーラスへの想いは熱く、アンサンブルの魅力を追い求めているグループです。

釈迦内女声合唱団

昭和54年、PTAコーラスとして発足しました。会員は少ないのですが、皆が合唱の喜びを胸に楽しく練習に励んでいます。

大館松下村塾 歴史と歌の会

『明るく・楽しく・爽やかに』をモットーとし『心に太陽を・唇には歌を』を合い言葉に、平成17年に発足しました。(5ページで紹介)

大館男声合唱団

平成10年に発足しました。男声独特の美しいハーモニーを創り上げるために、メンバーを4つのパートに分けて、男声合唱の基本であるアカペラで歌うことに情熱を傾けています。

コールOMG

昭和56年、大館市内小学校PTAコーラスの有志が、子供の卒業後も歌う場所を求めて結成しました。『楽しく・美しく・長く』をモットーに伊藤ひろ美氏の指導により、地に根の張った合唱活動を継続しています。

大館フラウエンコール

『桂城小学校PTAコーラス』として発足後、昭和62年に発展的に『大館フラウエンコール』と改称しました。現在は、宮のり子氏の指導により、合唱が大好き!な仲間が集い、楽しく歌うことをモットーに活動しています。



演奏 / 秋田県立大館鳳鳴高等学校吹奏楽部

歴史は古く、定期演奏会は今年で48回目を数えます。おもに入学式、運動会、鳳鳴祭、総体激励会、野球応援、卒業式等があります。そのほか全日本吹奏楽コンクールに参加しています。

大館・北秋田地域秋田わか杉国体・秋田わか杉大会

開催1年前県民総参加運動推進大会

日時:9月18日(月) 午後1時～4時 場所:大館市樹海体育館(大館市上代野)

内容:県民歌斉唱、表彰式、国体競技種目のエキシビジョン(大館鳳鳴高等学校アーチェリー部員による試技)、選手団歓迎の演舞会(大館マーチングバンドディレクターズ、山田獅子踊、北秋田市スギッチダンスキッズ、綴子上町奴踊、和太鼓演奏グループ「鼓響」)、スギッチ体操公開練習会、大会成功への決意宣言等

問 秋田県北秋田地域振興局 0186 62 1251/大館市教育委員会国民体育大会推進室 0186 48 7799

北秋田市教育委員会国民体育大会推進室 0186 60 1601/上小阿仁村教育委員会 0186 60 9000

イベント情報

秋田市 8/19(土)からスタート

コミュニティビジネスセミナー in 秋田2006

ビジネスで地域貢献したいアナタのためのコミュニティ
ビジネス(CB)起業支援セミナー

日時:8月19日(土)、8月20日(日)、9月2日(土)、9月3日
(日)、年度内(全5回) 午前10時~午後4時

会場:秋田テルサ(秋田市御所野)ほか

内容:第1回/新しいビジネスのスタイルにシビれる!

第2回/起業のためのノウハウにシビれる!

第3回/仮想体験にシビれる!

第4回/辛口、本音のトークにシビれる!

第5回/自らのプランにシビれる!

講座内容充実のため、状況に応じてプログラムが若干変更になる場
合がありますのでご了承ください。

問 申込:特定非営利活動法人あきたNPOセンター
018 831 8412

E mail akitanpo@land.linkclub.or.jp

ホームページでも検索できます。「美の国あきたネット」[NPO・県民運動]「コミュニティビジネス」
秋田県委託事業

能代市 9/13(水)~12/20(水)

プレママ・プレパパ子育て学習会

①子育てライフは山あり谷あり

「オギャー」と赤ちゃんが生まれたその時から親と子が、
育つ日々が始まります。子育て経験者、保健師、看護師、
保育士を交えお話をしながらいざというときの心構えを
学びましょう。

日時:9月13日(水)、10月11日(水)、11月8日(水) 全3回)
午前9時30分~午前11時30分

会場:働く婦人の会(能代市追分町)

参加定員:20人 参加費:無料

申込締切:9月8日(金)

②子育て支援の輪つなぎをスタートしよう!

支援活動団体、行政、育児サークルなど、それぞれの活
動の情報交換と抱えている問題解決をしながら子育て
支援のあり方を一緒に考えましょう。

日時:9月27日(水)、10月25日(水)、11月22日(水)、
12月20日(水) 全4回)

午前9時30分~午前11時30分

(場合によっては午後7時~午後9時)

会場:働く婦人の家(能代市追分町) 参加費:無料

申込締切:9月22日(金)

の主催:NPO法人メリーゴーランド

問 申込:つどいの広場「ばらんこ」 0185 54 7144

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業「元気あきた資金」を受けています。

社会福祉協議会のボランティアセンターは、地域のボランティアと協力し、高齢者や障がい者、子育て支援、福祉
教育の支援、ボランティア活動に関する相談や活動先の紹介など地域の特性を踏まえた事業に取り組んでいます。

平成十七年度に実施した市
町村ボランティア活動調査で
は、北秋田市のボランティア人数
は二万二千八百名を超えていま
す。近年、生涯学習やまちづく
り、環境保全などの活動も増え
ており、また、学校で取り組み
ているボランティア活動なども合
わせる市内の多くの方がなん
らかの活動に参加していると考
えられます。

活動内容については、高齢者を
対象とした活動が最も多く、相
談・話し相手、訪問活動、交流活



北秋田市ボランティアセンター

北秋田市花園町16 1

0186 63 2109(担当者:島内麻衣子)

北秋田市老人クラ
ブ連合会鷹巣支部
の方に早朝から花
植え・草取りをして
いただきました



夏休み期間中のサマーショートボランティアディサービス
利用者との交流。今年度は7/25~8/12まで行いました

動といったネットワーク活動や
いきいきサロンのお手伝いなど
があげられます。

また北秋田市では、次代を
担う高校生が夏休み期間を利
用して、社会福祉施設や在宅
で生活する高齢者、障がい者
や児童とのふれ合いの中で、生
きることの尊さや自分自身の
生き方、地域社会のあり方な
ど、福祉の目を育む機会を創
ることをねらいにサマーショ
ートボランティアを実施していま
す。今年度は、市内六つの社会
福祉施設に大館・能代山本・北
秋田市の高校へ通う十七名が
参加します。

イベント情報

能代市 8 / 19(土)

能代宇宙イベント2006

日本全国から宇宙への夢を追い求める学生約200名が参加し、大型ロケットの打ち上げや自律ロボットの制御技術を競います。会場ではモデルロケット打上体験もできるので、夏休み最後の週末に親子で参加してください。(開催予備日20・21日)

日時:8月19日(土)午前9時~午後5時

会場:能代市浅内第2鉱さい堆積場

参加費:無料

モデルロケット打上体験は先着200名1回200円

☎ 主催:能代宇宙イベント協議会

事務局 018 889 2806

http://www.mono.akita-u.ac.jp/noshiro/

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業「元気あきた資金」を受けています。

仙台市 8 / 25(金)

NPO経営相談

はじめたい!! やって見たらわからなくなった? これからどうしよう?! そんな困ったときによく効きます!

日時: 8月25日(金) 午後1時~5時(1時間単位)

会場:せんだい・みやぎNPOセンター(仙台市青葉区大町2-6-27岡元ビル4階)

アドバイザー:加藤哲夫氏(せんだい・みやぎNPOセンター代表理事・常務理事)

相談料(1時間あたり):センター会員2,000円

非会員2,500円

予約制のため事前に申込が必要です。

☎ 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター 022 264 1281(担当/青木)

http://www.minmin.org/

秋田市 8 / 26(土)9 / 3(日)

あきた子育てネット研修会

講演「子育てネットワークってなあに? 他県と本県の事例を学ぼう」や分科会などを行います。

<part 1>

日時:8月26日(土) 午後1時~4時30分

講師:千葉勝恵氏(NPO法人「手をつなご」理事長)

<part 2>

日時:9月3日(日) 午後1時~4時30分

講師:野呂比呂美氏(NPO法人「やまがた育児サークルランド」代表)

会場:遊学舎(秋田市上北手荒巻字堺切)

☎ 申込:NPO法人 子育て・高齢者介護サポートばっけの会 018 834 4733

独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」助成事業を受けています。

八峰町 8 / 20(日)

ポンポコ山音楽祭

アマチュアミュージシャンによる野外ライブ。フィナーレには花火ショーも行います。

日時:8月20日(日) 正午~午後9時

会場:八峰町峰浜ポンポコ山

主催:ポンポコ山音楽祭イベント実行委員会

☎ 八峰町産業振興課 0185 70 4100

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業「元気あきた資金」を受けています。

三種町 8 / 19(土)20(日)

森岳温泉夏まつり

仮装まつりや地域の特産じゅんさいを使ったイベント、野外コンサートを行います。

日時:8月19日(土)午後7時、20日(日)午前11時

会場:19日森岳温泉街、20日惣三郎沼公園

主催:三種町山本地域活性化イベント実行委員会

☎ 三種町山本総合支所地域づくり課

0185 83 2112

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業「元気あきた資金」を受けています。

八峰町 8 / 27(日)

悠久の森「白神」フェスティバル

全国から詩を募集し、大賞作品に曲をつけて白神山地のイメージソングに仕立てる「白神の詩コンテスト」の表彰式を始め、多彩な催しが行われます。

日時:8月27日(日) 午後0時30分開演

会場:八峰町御所の台ふれあいパーク

☎ 悠久の森「白神」フェスティバル実行委員会事務局

0185 77 2111

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業「元気あきた資金」を受けています。

能代市 9 / 8(金)

わらび座ミュージカル銀河鉄道の夜

日時:9月8日(金) 午後6時開場 午後6時半開演

会場:能代市文化会館大ホール

料金:前売3,500円 親子券5,000円

☎ NPO法人能代市芸術文化協会

0185 54 8141

鹿角市 9 / 24(日)

ふれあい広場

福祉機器の展示、献血コーナー、健康相談、フリーマーケットなど行います。

日時:9月24日(日) 午前10時~午後2時30分

会場:鹿角市役所庁舎前

☎ 鹿角市社会福祉協議会

0186 23 2165

地域を元気に
したいと活躍
している人や
団体紹介

元気なふるさと秋田づくり 県民運動

秋田県は、今年度から、県民目標「元気なふるさと秋田づくり」の実現に向けて、地域や県民が自主的・主体的に取り組む「県民運動」を展開します。このコーナーでは元気な秋田をつくっていくと活動している個人や団体、企業をご紹介します。



近くの山の木で家をつくる会・大館

こんにちは！私達は地元の製材所・工務店・設計事務所が集まり、地場産材の秋田スギを使った家づくりをしているグループです。

秋田スギの需要拡大をめざして、子供達にも身近なスギにより親しみを持ってもらおうと、7月22日(土)大館市の県北木材センターで「親子の木工教室」を開催しました。20組の親子が小型のモデルハウス「3坪ハウス」づくりと間伐材を使った木工教室を体験し、スギの温もりをたっぷり肌で感じてもらいました。3坪ハウスの組立では、4寸角の柱や板材を使って土台づくりから棟上げまで行い、子供達は組み上がった材料を運びながら職人と一緒に汗を流しました。途中、柱の向きを逆に組み立てるハプニングが発生。屋根を外さずに向きを直す職人の技と一つでも違うと組み立てられない緻密さをもつ日本の建築技術のすばらしさに感心している様子でした。最後の床材が組み込まれると、子供たちは「できたー！」と大喜び。スギの香りが広がるハウスの中で、餅まきならぬ「菓子まき」をして、完成を祝いました。

(代表/谷川原郁子)

☎ 事務局/やがわら郁子設計室 0186 43 9240

なぜ地元の木がいいの？

その地域で育った木は、その地域の自然条件をよく知っています。そのため、地場産材でつくられた家は耐久性が増すのです。また、山林を定期的に伐採することで環境保持につながります。

秋田スギなど木にはどんな良さがあるの？

肌ざわりや香りが良く、人にぬくもりやすらぎを与えてくれます。そのほかにアレルギーを引き起こすカビやダニを抑制する効果や部屋の調湿効果、熱伝導率が小さく、衝撃吸収能力が高いなどがあります。

大館松下村塾 歴史と歌の会

大館市に竹村記念公園とか大館松下村塾という名の文化的に意義深い施設があるということ、気づかずにいる方は意外と多いのではないのでしょうか。大館鳳鳴高校振興会所属のものではありますが、萩市の松下村塾の模築という本来持っている価値に、輝きを与えるような利活用の仕方がないものかと素朴な気持ちで案じていました。その後歌謡曲「吉田松陰」に出会い、その歌詞に秘められている幕末の頃と現代の改革の時期とがオーバーラップしていることに気づいたのです。そこで、明るく楽しい身近な歴史学習を目的として、塾に埋もれ火のような火を灯して2年目となりました。

ちなみに昨年は「松蔭についての勉強会」「松蔭歌の斉唱」「松蔭の教育者としての魅力について」「狩野良知書の掛軸鑑賞」「詩吟による松蔭辞世の句」「大館松下村塾の模築について」「松蔭の母や旅について」等のテーマで学習を実施してまいりました。

今年度の活動予定としては「大館市民歌・秋田県民歌の斉唱」「6月18日」「浪曲八公物語の鑑賞」「狩野良知についての講話」「松蔭についての素読会」を計画中です。

現在会員数は38名。年会費1,000円。塾の清掃活動をしながらか音楽の持つ効用と、文化的先人の学習で、明るく前向きな生き方に繋げようと、随時会員を募りながら大館にホットな人を増やしています。

(代表/齋藤松子)

☎ 0186 42 2595 または 0186 42 5577(事務局/畑沢)



大館松下村塾で記念写真を撮る会員

元気なふるさと秋田づくり 県民運動



子どもたちが発案した「ししとうのまきまき揚げ」が旧鷹巣町ししとうコンクールで平成16年最優秀賞を受賞

J A 女性部鷹巣支部

みなさんは「ししとう料理」をいくつ知っていますか？ J A 女性部鷹巣支部では、伝統食名人で食育ボランティアの小塚保子さんと部員が協力しながら、ししとうや大豆などの創作料理、太巻きずしなどの伝統食の発掘・伝承、食育の普及啓発を行っています。

平成16年に「こどもふれあい農園」を開設し、子どもたちに作り方から収穫までを体験してもらい、そこで収穫した安全・安心な野菜を使って親子料理教室を行っています。そのほか、小学校の総合学習で料理指導や保育園等で「食育について」の講話を行い、子どもたちに食の大切さ、命や愛情について伝えています。料理教室や講話などのご希望があれば声をかけてください。

部員は現在110名で、65歳以上が80%を占めていて活性化が求められているなか、子どもたちとのふれあいは活力になり、新たな楽しみと喜びで満ちています。これからも活動の輪をどんどん広げていきたいです。

(支部長/五代儀節子) 問 FAX 0186 55 0278



今年は鷹巣小3年生が総合学習で苗の植付けや手入れ、収穫を体験しています

子どもに人気の「ししとうマヨのロールフライ」レシピ紹介

<材料>牛肉/下味 レモン大2、オリーブオイル大2、こしょう少々、ニンニクすりおろし小1/2 ししとうマヨ/ししとう150g、マヨネーズ大5、ニンニクすりおろし小1/2、塩・こしょう少々 フライ用/小麦粉、卵、パン粉、天ぷら油、各適量

<作り方> パットに下味を入れ、牛肉を10分間くらいつける。ししとうは種を取り、細かく刻む。ししとうの材料を合わせる。下味から肉を取り出し、小麦粉をふったアルミホイルの上に肉をのせ、ひっくり返して、ししとうマヨをぬってくるくる巻く。小麦粉のついた肉を溶き卵、パン粉の順につけ、170度の油で揚げる。斜め切りして盛りつけ出来上がり。

鹿角に馬を呼ぶ会

私たちは、恵まれた自然と馬を核として活動を行っています。

南部藩の時代から馬とのかかわりが深かったことを証するように馬の神様が多く祀られております。しかし農業の機械化が進み、それに伴い暮しの中で馬と接する機会がほとんどなくなりました。



3月に乗馬体験会を行ったところ、多くの方々が直に馬に触れ、馬の背に揺られ、子ども達の笑顔・笑顔、大人たちも童心に戻り、心から楽しんでいる姿が見られました。すでにストーンサークル館隣接地には馬場も完成し、この夏はいつでも馬をご覧になることができます。

また、古代焼き大会の際には乗馬体験会を開催し、一般の方々にも乗馬を楽しんでいただけます。なお同馬場を使って乗馬ライセンス取得講習も行われます。ぜひ、入会いただき、馬とのふれあい、そこから生まれる出会いを大切にしていきたいませんか。年会費は3,000円でイベントに家族全員で無料参加できます。

(会長/木村福次郎)

問 0186 35 2474(事務局/樽田広衛)



7月には家庭教育推進フォーラムの「親子体験乗馬」に参加し、多くの親子に馬とふれあってもらいました

写真提供「北鹿新聞社」

乗馬体験会開催

8月27日(日)

午前9時受付

乗馬料金1回500円

みんなも乗れるよ!

元気なふるさと秋田づくりサイト

<http://www.akita-kenmin.jp/kmud/index2.asp>

元気なふるさと秋田づくり県民運動に関するお問い合わせ

県地域活動支援室 018 860 1520

北部市民活動サポートセンター 0186 49 8553

「元氣なふるさと秋田づくりサイト」 県民運動ホームページがオープン!

“元氣なふるさと秋田づくり”を目指して、県民の皆さんが自主的・主体的に取り組む地域を元気にする活動(県民運動)の紹介や、県民運動に関するイベント等の最新情報をお知らせするサイトです。

【総合トップページ(秋田県地域活動支援サイト)URL】

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/>

【元氣なふるさと秋田づくりサイトURL】

<http://www.akita-kenmin.jp/knud/index.2.asp>

☎ 秋田県地域活動支援室 018 860 1520

「元氣なふるさと秋田づくり」 活動紹介コンテスト作品募集

元氣な地域をつくる皆さんの活動(町内会・学校・企業単位でのクリーンアップや防犯・除雪活動等)を写真やイラスト、作文などで自由に表現してください。

応募締切:10月31日(火)

賞品:元氣なふるさとづくり大賞(副賞3万円相当)など

☎ 秋田県総合政策課 018 860 1215

<http://www.pref.akita.lg.jp/tyosei/>

県民交流サロンを開設

秋田県では、県民運動の推進にあたって、県民・地域の主体的・自立的活動を進めるため、多様な団体の地域づくり活動を支援するとともに、県有施設を活動拠点の場として提供することとしています。その一環として、このたび平成18年7月3日から山本地域振興局に県民交流サロンを開設しました。地域づくり活動団体及び県民の皆さんのご利用をお待ちしています。

場所:山本地域振興局職員会館1階

利用時間:午前9時～午後5時(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

☎ 山本地域振興局地域企画課 0185 52 6285

われら健康づくりチャンピオン参加者募集

家族で、職場の仲間同士で、友人で、グループになって「健康にいいこと、始めませんか?!

減塩、緑黄色野菜の摂取、ウォーキング、体操、禁煙、温泉利用、睡眠時間確保など「健康にいいこと」なら何でもOK!チャンピオンコース(60日間)またはマスターコース(100日間)みんなでチャレンジしよう

応募資格:2名以上のグループ

応募締切:平成18年8月31日(木)

☎ 北秋田地域振興局大館福祉環境部

0186 52 3952

北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部

0186 62 1165

山本地域振興局福祉環境部

0185 52 4333

第59回全国植樹祭

①シンボルマークの愛称募集

植樹祭を象徴する大会シンボルマークをより親しみのあるものにするとともに、未永く秋田の水と緑を守り育む県民運動のシンボルとして活用していくため、シンボルマークの愛称を募集しています。

応募資格:秋田県内に在住している方

賞及び賞品:【最優秀賞1点】賞品10,000円相当ほか

応募締切:8月31日(木)

☎ 秋田県全国植樹祭推進室

「シンボルマーク愛称」係

018 860 1751

<http://pref.akita.jp/zenshoku/>



②応援ボランティアの募集

大会前に行われる各種記念事業や大会当日の植樹および式典にかかわるボランティアスタッフを広く県民の皆さんに募集します。

ボランティアの種類: 第59回全国植樹祭前に実施される記念事業関連のボランティア(第59回全国植樹祭(リハーサルを含む)に係るボランティア)

募集人員:1,000人

応募資格:平成8年4月1日以前に生まれ、記念事業イベントおよび本大会期間中に活動できる方。*本大会で活動される方は、必要に応じて事前の研修を受けていただく予定です。

③間伐大作戦ボランティア募集

大会の記念として、開催会場やその周辺で行う「間伐大作戦」のボランティアを広く県民の皆さんに募集します。

ボランティアの種類: 間伐ボランティア 枝打ちボランティア

応募資格:小学4年生以上で、間伐・枝打ちなど森林環境の保全や整備に意欲的に取り組んでくださる方

応募締切:9月15日(金)

☎ 応援ボランティア・間伐大作戦ボランティアについて

秋田県農林水産部農林政策課 全国植樹祭推進室

018 860 1751

秋田県北秋田地域振興局農林部森づくり推進課

0186 62 1445

北秋田市産業部農林課全国植樹祭推進室

0186 62 6638

コールセンター実践科受講生募集

電話対応、ビジネスマナー、パソコンの知識と操作等
講習期間: 11月1日(水)~12月27日(水)
講習時間: 午前9時~午後4時
講習会場: 秋田県立秋田技術専門学校職業訓練センター(秋田市向浜)
定員: 16名(申し込みは先着20名で締切)
受講料: 無料(テキスト代5,500円は自己負担)
申込期間: 9月11日(月)~10月20日(金)
問 秋田県立秋田技術専門学校 018 895 7166

縄文ページェント「琴の湖」出演者募集

今年で12回目を数える縄文ページェントは、平成18年11月19日(日)に琴丘総合体育館で上演されます。今回は三種町となって初めての上演となるため、縄文ページェント実行委員会では、一緒に出演してくれる仲間を広く募集します。応募資格: 日ごろから演劇等に興味や関心のある人であれば性別、年齢は問いません。初心者大歓迎!!
募集部門: 舞踏 合唱 方言劇
舞台関係の協力者も募集します。
問 縄文ページェント実行委員会事務局(琴丘公民館内) 0185 87 3232

鹿角市「健康ロード(水仙ロード)の管理」 をするふれあいパートナー募集

健康ロードの約2kmにわたり、水仙が植えられている部分

の管理をしてくれるご家族や友人、サークル等の団体や、個人のふれあいパートナーを募集します。
担当区間には、誰が担当しているか表記した小さな看板を設置します。
活動期間: 登録後から以降毎年(冬季期間を除く)
応募資格: 市民または勤務地が市内にある方
募集期間: 随時募集
問 鹿角市共働推進課 市民共働班 0186 30 0202

森林ボランティア募集

秋田県民総参加の森林づくりを行っていくため森林づくりボランティアを募集・登録しています。
応募資格: 個人/満18歳以上 団体/団体の構成は問いません
会員特典: 登録証の交付。森林づくり活動等の情報提供。技術指導。スタンプラリー参加権など。
問 社団法人 秋田県緑化推進委員会 018 883 0815
<http://www.6.ocn.ne.jp/~akiryoku/>

「青少年と発見!体験!秋田県!チャレンジコンテスト」参加者募集

秋田県では、青少年と異世代と一緒に各種体験活動を通じて、心身の鍛錬とコミュニケーション能力を高めることを目的に全県からの公募チームによる活動内容のコンテスト

助成金情報

ボランティア・市民活動¹に対して、秋田県が行っている助成事業²についてご紹介します。

ボランティア・市民活動支援助成金

(ボランティア資金)
対象団体: ボランティア・市民活動の実績(4ヶ月以上)があり今後も継続的活動を続ける県内の非営利団体
【調査・研究事業】
活動内容: 県外の先進地域の活動を調査研究(1団体3人まで)
【器材整備事業】
活動内容: 活動に必要な器材の購入費用(個人的に使用するものや消耗器材は除きます)
助成金額: 限度額200,000円
申請先: 各地域振興局(年2回)

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業

(元気あきた資金)
【イベント等開催支援】
活動内容: 地域に根ざした新たなイベントを立ち上げたり、既存のイベントをパワーアップしたい。
助成金額: 限度額1,000,000円(事業費の1/2以内)
【講演会・学習会等開催支援】
活動内容: 地域のあり方を考えるための学習会などを開きたい
助成金額: 限度額200,000円
申請先: 各地域振興局(年2回)
【地域力活性化事業】
活動内容: 地域資源を活用し、地域を元気にする活動を応援
助成金額: 限度額100,000円
申請先: 各地域振興局(随時)

を実施します。

募集チーム:先着100チーム(1チーム5~30人程度)

賞品:【県知事】賞品10万円相当ほか

応募締切:9月29日(金)

主催:秋田県

後援:(社)青少年育成秋田県民会議

問 秋田県生活環境文化部県民文化政策課 青少年育成班
018 860 1553

「少子社会を生きる!」エッセーコンテスト

今日、少子化の進行は国民生活全般に大きな影響をもたらしてきています。そうした少子社会の中で、次代を担う若い世代の皆さんは、どのような問題意識をもち、これからの自分たちの暮らしをどのように考え、どう生きようとしているのでしょうか。ご意見をつづったエッセーを募集します。

応募資格:15歳以上40歳未満の方(平成18年9月29日現在)一人一作品に限ります。

応募締切:9月29日(金)

表彰:【こども未来財団賞1編】賞状、楯と賞金50万円ほか

主催:こども未来財団、読売新聞社

後援:厚生労働省、文部科学省、全国社会福祉協議会、日本経済団体連合会

問 こども未来財団事業振興部企画課 03 6402 4823
<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/>

被害者支援のためのメッセージ等を募集

秋田被害者支援運動の一環として、犯罪被害者等に対する理解を深めていただき、犯罪被害者等の被害の回復及び社会復帰に資するため、被害者支援のためのメッセージ 秋田被害者支援運動の愛称を広く県民から募集します。(参考:秋田県犯罪被害者等支援基本計画)

応募資格: 県内在住者(小・中学生、高校生応募可)

応募作品は、自作の未発表作品に限ります。

応募締切:9月29日(金)

問 秋田県警察本部警務部警務課犯罪被害者対策室
018 863 1111

秋田県生活環境文化部県民文化政策課企画班
018 860 1513・1560

40文字の願い

40文字にこめた親・大人・社会への願い

今の親や大人・社会を見ていて、「こういう態度は直して欲しい」「こういう良い所は変えないで欲しい」「こんな大人になりたい」「こんな大人にはなりたくない」など、感じていること、思っていることなどを、35文字以上40文字以内にまとめてください。

応募資格:30歳以下の人なら誰でも応募できます

応募締切:9月11日(月)

問 社団法人青少年育成国民会議 「40文字の願い」係
03 3460 4151 <http://www.nayd.or.jp/>

左記の平成18年度1回目(5月15日締切)助成団体は決まりました。山本地域振興局で18団体、北秋田地域振興局で6団体、鹿角地域振興局で5団体でした。内容としては新規が少なく、再度受ける団体には発展のある活動が望まれています。また、団体が助成金に頼らず継続できるしくみをつくっていくことも重要です。

2回目は9月1日(金)~10月2日(月)までの受付です。

ご希望の団体はぜひ、下記までご相談ください。

鹿角市地域振興局 0186 - 22 - 0456

北秋田地域振興局 0186 62 1251

山本地域振興局 0185 52 6285

- 1 公益の増進を目的とした民間の自発的な活動
- 2 県民文化政策課地域活動支援室関係の助成金

助成金申請支援セミナー開催

民間の助成事業への応募方法を学び、助成金を獲得するためのノウハウやテクニックを身につけるためのセミナーを開催します。

日時:8月29日(火)午後1時30分~午後5時

会場:大館地区総合事務所会議室(大館市片山町3丁目)

講師:菅井明則氏(日本財団公益・ボランティア支援グループ公益チームリーダー)

参加費:無料

問 申込:秋田県地域活動支援室 018 860 1519

日本財団とは:日本財団は、競艇の収益金の一部を財源として、先見性と柔軟性を持って、幅広い公益活動を推進している助成財団です。

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

ボランティア・NPOのよもやま話

NPOに関わる3人の会話を通して、疑問や質問にお答えします。

登場人物
 ハジメ (ボランティア活動未経験)
 エヌコ (NPO 法人勤務 2年)
 リジオ (NPO 法人理事)

「協働による地域づくり活動宣言」 記念シンポジウムについて

(エヌコ) 7月24日秋田市の遊学舎で行政と民間が対等な立場で地域づくりに取り組むことを盛り込んだ「協働による地域づくり活動宣言」の宣言書署名式と記念シンポジウムが行われました。

(リジオ) この宣言書は、行政からの一方通行ではなく、地域で活動する団体(以下地域活動団体)が検討会や意見交換会を何度も繰り返してできたもの!地域づくりは、さまざまな分野で取り組まれているが、これは「協働による新たな公共サービス」で活躍が期待される地域活動団体が、県との対等な関係を築いていくための確認事項なんだ。

(エヌコ) 記念講演では「協働について～新しい公共をつくる～」と題して播磨靖夫氏(財団法人たんぼの家庭理事長、特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事 1)から貴重なお話を聞くことができましたね。

(ハジメ) そういえば「協働」は「上からの強制的なものがない」共通の目的のため一緒に行動するより強い結びつきがあると、共同や協同との違いを強調していましたよ。

(エヌコ) 新しい公共サービスとして、監視ではない信頼関係を取り戻すことが必要で、他者(人間、異文化、生物、自然環境など)への配慮から創造されるとも。

フリートークは、宣言書策定に関わった千田謙蔵氏 2、佐藤裕之氏 3、丸野内胡桃氏 4のほか、ゲストに播磨氏を迎えて行われました。宣言書が生まれた経緯、新しい公共サービスの可能性などが話題に上りました。

(リジオ) 私も策定に参加したので、佐藤氏の言う通り、いかに対話が有効であり、今回、多くの成果を得たと実感しているよ。また、播磨氏の話にも感銘したな。

(ハジメ) そうですよ。これからは企てから試みが必要で、未知なるものを受け入れ、実験を恐れないことだって言っていましたよ。みなさんはどんな言葉が印象に残ってますか?

(リジオ) NPOの心構えで 志を持つ アイディアを豊かにする 戦略を持つ 提案能力を持つ 対話能力を持つこと。また、痛みや願い、善し悪しについて分かち合う心が必要ということかな。

(エヌコ) 播磨氏からこの活動は「順風満帆ばかりではなかった。悲しく辛いとき、ゆらぎそうな時は宮沢賢治の「告別」を読んで、心をふるいたたせて志を高くやってきた。」とお聞きして、どんな活動にも辛く大変なことがあるんだなーって勇気づけられました。

(リジオ) よし、宣言書に込める思いをもっと多くの地域活動団体に理解してもらおうぞ!

- 1 財団法人たんぼの家は障害をもつ人たちが芸術活動などの創造的活動を通して自己を表現し、社会自立をめざすために活動している。<http://popo.or.jp/zaidan.html> 特定非営利活動法人日本NPOセンターはNPO全体の発展を願い、幅広い関係者の協力によって設立。NPOの社会的基盤の強化を図り、市民社会づくりの共同責任者としての企業や行政との新しいパートナーシップの確立をめざしている。<http://www.jnpoc.ne.jp/>
- 2 特定非営利活動法人横手ひらかNPOセンター理事長 <http://www.akita-kenmin.jp/yokotehirakanpo/>
- 3 特定非営利活動法人あきたNPOコアセンター副理事長 <http://www.akitanpo-coa.jp/>
- 4 特定非営利活動法人あきたパートナーシップ理事長 <http://www.akita-kenmin.jp/partnership/>

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>
 秋田県のボランティアや市民活動に関する情報や話題が満載。登録していただくと団体のプロフィールや目的、事業などを紹介できます。

<編集後記> いちばん身近なコミュニケーションの相手は親子関係。お互いにじっくり話をしたり、聞いたりすることがとても大切なのに、なかなかできない現実にジレンマを感じています。コミュニケーションは難しい。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

情報をお待ちしています
 県北のボランティア・NPO活動の情報をどんどん紹介します。電話やファックス、メールで情報をお寄せください。活動の輪を広げましょう。また、北部男女共同参画センターでは、貸室(研修室・グループ活動室)、本・ビデオの貸出、交流サロン、ロッカー、印刷機・コピー機の利用ができます。

〒017 0841
 秋田県大館市字大町57
 TEL 0186 49 8553
 FAX 0186 49 8589
<http://www.akita-kenmin.jp/northsupportcenter/>
 E-mail an gec1@io.ocn.ne.jp

